



資料 4 現施設利用状況の分析 (ホール・展示室以外の諸室)

ASAHIKAWA CITY

現・旭川市民文化会館の利用状況分析（ホール・展示室以外の諸室）



第11回検討会資料6と同様に、ホール・展示室以外の諸室についても、
本検討のため、以下のとおり新たにデータを作成・分析



- 旭川市民文化会館管理業務において、受付管理用に作成している台帳データを基に、
利用区分単位での稼働率を算出

- 利用状況の傾向を掴むため、現・市民文化会館の会議室等を3つに分類して分析

①中～大規模会議室

②小規模会議室

③特殊な設えの諸室

- 利用状況の傾向を掴むため、会議室等の利用目的を5つに分類して分析

会議利用①
(打合せ・相談会等)

会議利用②
(試験・研修・講演・
説明会等)

文化活動等

ホールとの併用
(控室・別会場等)

商業活動等

- ・ 周辺施設の状況を把握するため、公開されている施設情報等を集約



- 1 現・市民文化会館の会議室等
- 2 現・市民文化会館／公会堂の楽屋
- 3 コンベンションでの利用
- 4 中心市街地における公共施設
- 5 まとめ

①中～大規模会議室

②小規模会議室

(1) 現・市民文化会館の会議室等

③特殊な設えの諸室

■2階見取図



第1会議室

34.25㎡ 定員18名

研修会・諸会議等にご利用できます



第2会議室

128.78㎡ 定員80名

研修会・諸会議等にご利用できます



第3会議室

65.37㎡ 定員30名

研修会・諸会議等にご利用できます



第4会議室

72.61㎡ 定員10名

来賓控室・諸会議等にご利用できます



リハーサル室

135.16㎡ 定員設定なし

音楽・芸能部門等のお稽古などにご利用できます

①中～大規模会議室

②小規模会議室

(1) 現・市民文化会館の会議室等

③特殊な設えの諸室

■3階見取図



大会議室

282.04㎡ 定員198名

小規模発表会・講演・講習・研究会等にご利用できます



第5会議室

65.37㎡ 定員30名

研修会・諸会議等にご利用できます



和室

96.71㎡ (※舞台含む)定員40名

邦楽・邦舞等の練習や諸会議等にご利用できます



和室(舞台)

※和室の一部を舞台として使用(板張り)

舞台のみの単独利用はできません

(1) 現・市民文化会館の会議室等

①中～大規模会議室

大会議室 (定員198人／282.04m²)



- ・ 大小ホール・展示室に次ぐ収容人数
- ・ 舞台・スクリーン・音響設備あり
- ・ 防音機能あり、グランドピアノを常設

第2会議室 (定員80人／128.78m²)



- ・ 大会議室の次に大きい会議室
- ・ スクリーンやマイク等を使用する場合、ポータブルのものを使用

(1) 現・市民文化会館の会議室等

②小規模会議室

第1会議室 (定員18人／34.25㎡)



- ・ 現・市民文化会館で最も小さい会議室
- ・ 第2会議室と隣接しており、互いに音が漏れやすい

第3・第5会議室 (定員30人／65.37㎡)



- ・ 間取りは同一
(第3会議室が2階、第5会議室が3階にそれぞれ位置する)

(1) 現・市民文化会館の会議室等

③特殊な設えの諸室

第4会議室 (応接室型／定員10人／72.61㎡)



- ・カーペット敷 (応接間のような形式)
- ・机は重量があり、自由に配置を変更することが難しい

リハーサル室 (平土間／135.16㎡)



- ・平土間 (土足禁止)
- ・壁面の一部が鏡張り
- ・アップライトピアノを常設
- ・防音機能がない

(1) 現・市民文化会館の会議室等

③特殊な設えの諸室

和室・舞台（畳敷き／定員40人／ $56.97\text{m}^2 + 39.74\text{m}^2$ ）



- 舞台（板の間）は、単独での貸出は不可
- 奥に水屋があるが、板の間で動線が途切れており、また炉を切ることができないことから、茶道での使用は難しいとのこと。

(2) 会議室等の利用実績（区分単位の稼働率）



① 中～大規模会議室

	大会議室（定員198人／282.04m ² ）			第2会議室（定員80人／128.78m ² ）		
年度	平日	土日祝日	全日	平日	土日祝日	全日
R7	33.3%	56.1%	41.2%	36.5%	52.3%	42.0%
R6	30.8%	56.5%	39.5%	32.2%	59.8%	41.5%
R5	32.9%	54.0%	40.3%	39.8%	51.7%	43.9%

② 小規模会議室

	第1会議室 （定員18人／約34.25m ² ）			第3会議室 （定員30人／65.37m ² ）			第5会議室 （定員30人／65.37m ² ）		
年度	平日	土日祝日	全日	平日	土日祝日	全日	平日	土日祝日	全日
R7	39.3%	59.4%	46.2%	36.9%	57.9%	44.1%	29.5%	44.7%	34.7%
R6	29.9%	53.0%	37.7%	31.0%	53.9%	38.7%	30.1%	50.3%	36.9%
R5	24.2%	41.1%	30.1%	33.0%	47.4%	38.0%	29.2%	42.8%	34.0%

(2) 会議室等の利用実績（区分単位の稼働率）

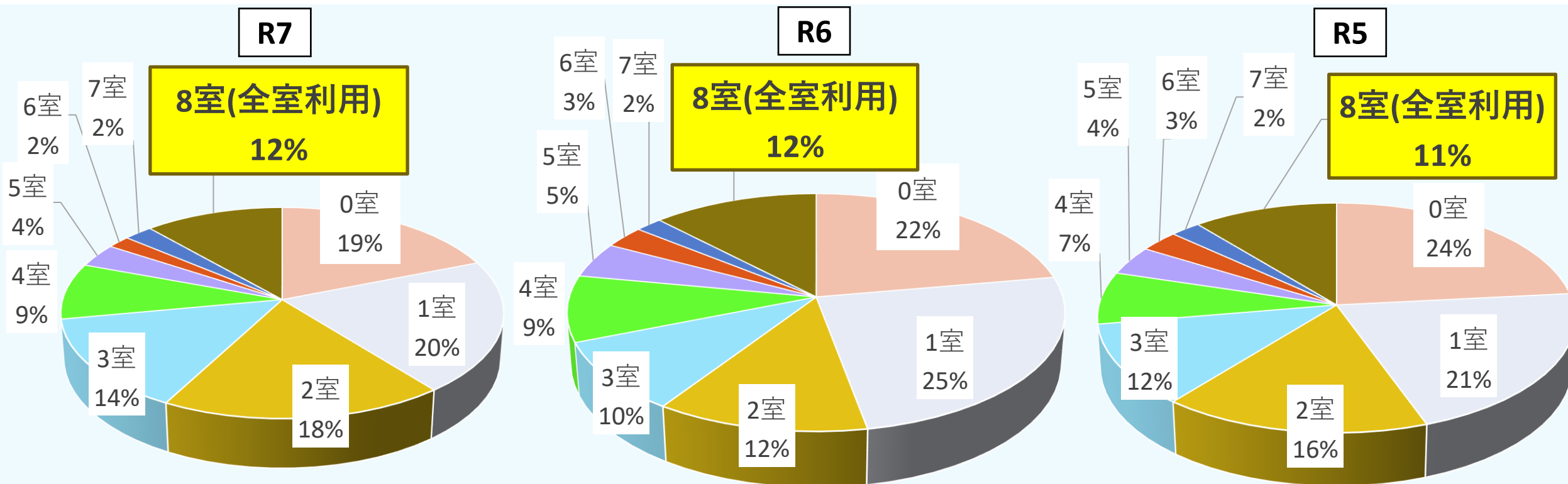


③ 特殊な設えの諸室

	第4会議室（応接室型） （定員10人／約72.61㎡）			リハーサル室（平土間） （135.16㎡）			和室（畳敷き） （定員40人／56.97㎡＋39.74㎡）		
年度	平日	土日祝日	全日	平日	土日祝日	全日	平日	土日祝日	全日
R7	16.7%	26.9%	20.2%	20.2%	42.2%	27.8%	14.1%	27.2%	18.6%
R6	15.8%	37.8%	23.2%	16.1%	58.3%	30.3%	11.1%	38.1%	20.2%
R5	14.3%	31.9%	20.6%	20.2%	54.0%	32.1%	17.6%	31.9%	22.5%

- ①中～大規模会議室と②小規模会議室では極端な差は見られず、各室とも平日が3割前後、土日祝日が4～5割程度と余白があり、予約を受付できないほどに逼迫した状況ではない。
- ③特殊な設えの諸室は、最も稼働率の高いリハーサル室でも全日で3割前後、第4会議室と和室は全日で各年2割前後と、特に稼働率が低い。

(3) 会議室等の利用実績（利用室数）



➤ 全室利用されている区分は、全体の1割程度



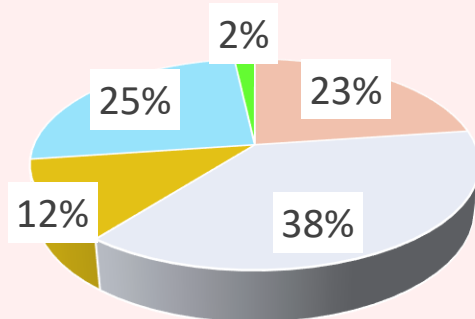
- 現状の利用においては、会議室数が不足していると言える状況ではなく、利用拡大の余地がある。
- どのような目的で利用されているかという視点も含め分析する必要がある。

(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

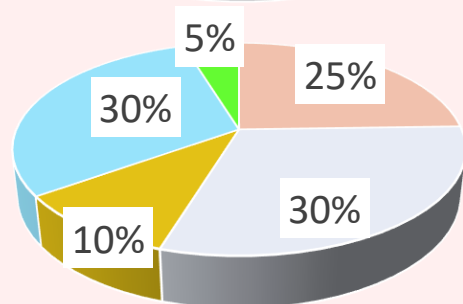
①中～大規模会議室

大会議室

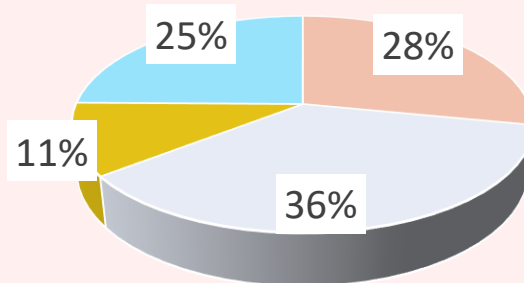
(R7)
平日



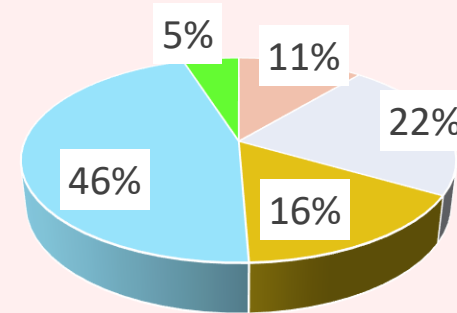
(R6)
平日



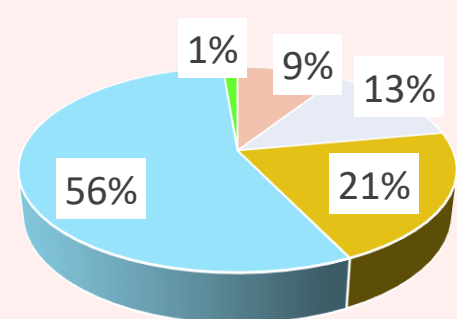
(R5)
平日



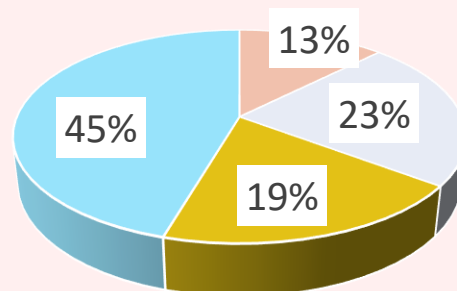
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 平日は会議利用①②を合計すると、全体の半分以上を占める
- 土日祝日はホールとの併用が約半分を占め、会議利用は3割程度
- 現施設で唯一防音の会議室であり、平日・土日祝日とも文化活動等での利用が若干見られる

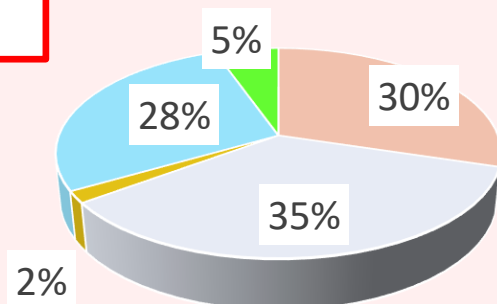
(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

①中～大規模会議室

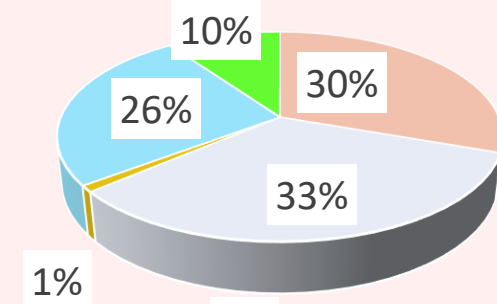


第2会議室

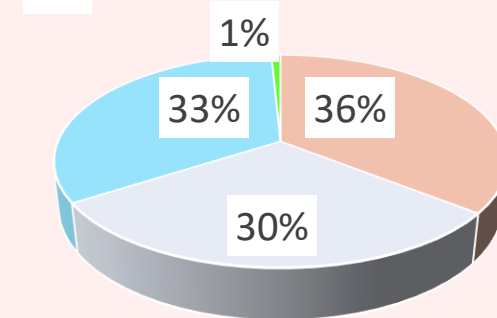
(R7)
平日



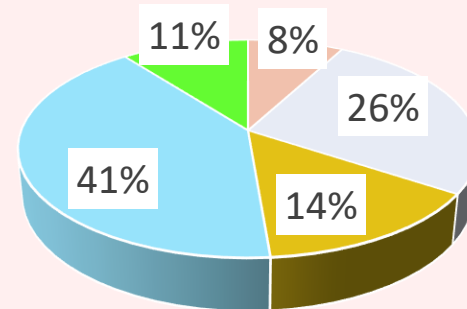
(R6)
平日



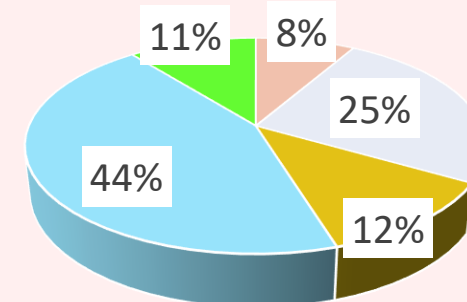
(R5)
平日



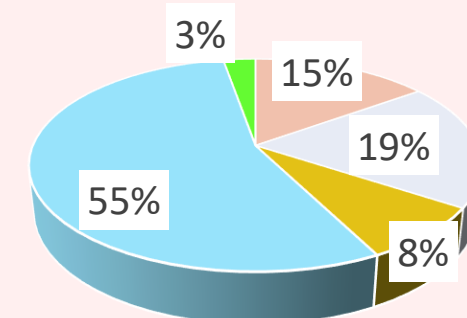
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 平日は会議利用①②を合計すると、全体の半分以上を占める
- 土日祝日はホールとの併用が約半分を占め、会議利用は3割程度
- 文化活動等での利用割合は、大会議室に比べ、特に平日が低い

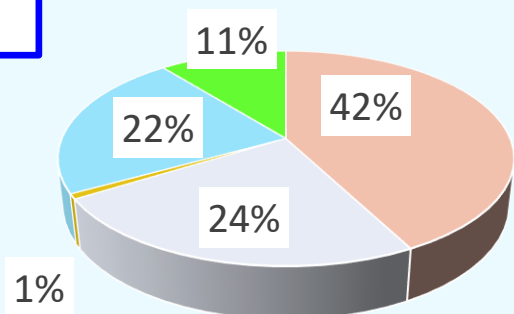
(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

②小規模会議室

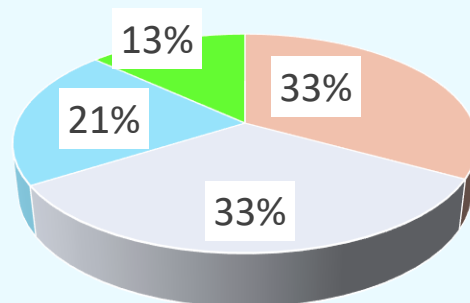


第1会議室

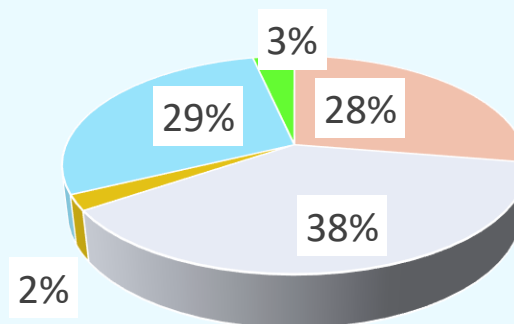
(R7)
平日



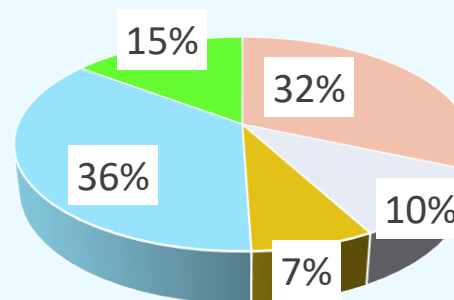
(R6)
平日



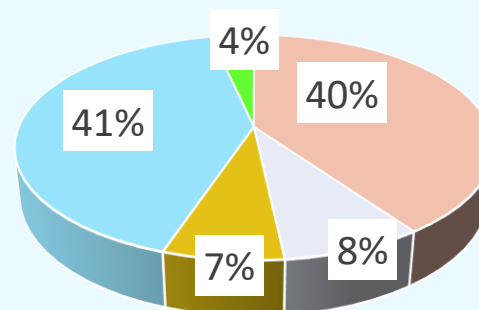
(R5)
平日



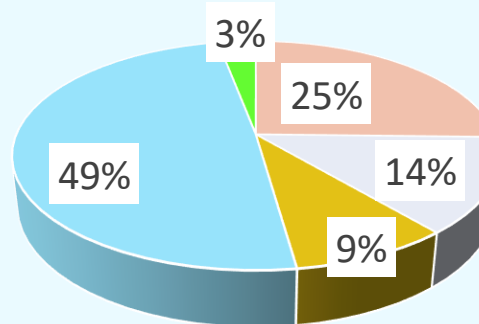
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・
説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

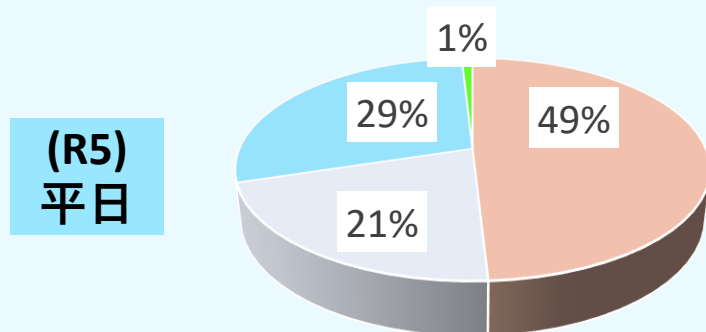
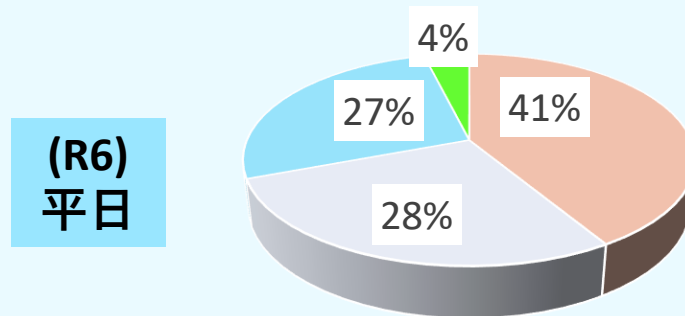
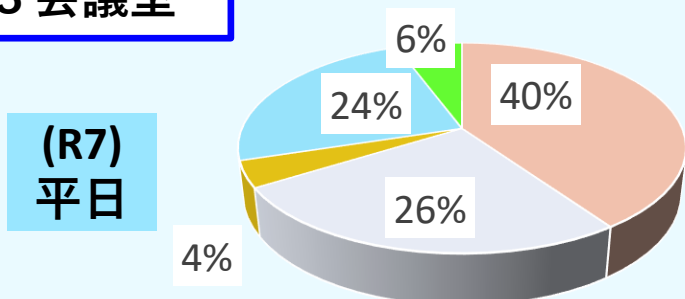
- 会議利用①②を合計すると平日は6割以上、土日祝日は4～5割程度
- ホールとの併用は、平日が2～3割程度に対し、土日祝日は3～5割程度

(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

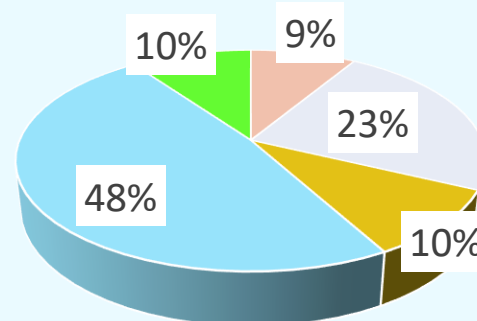
②小規模会議室



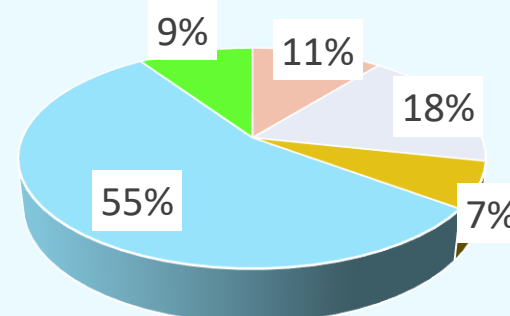
第3会議室



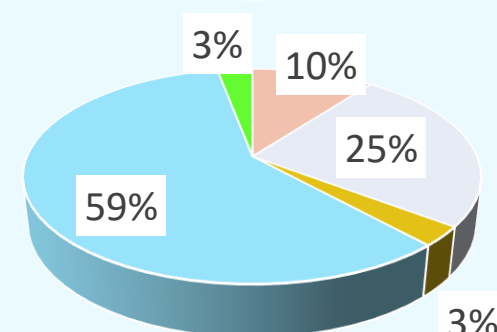
(R7) 土日祝日



(R6) 土日祝日



(R5) 土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

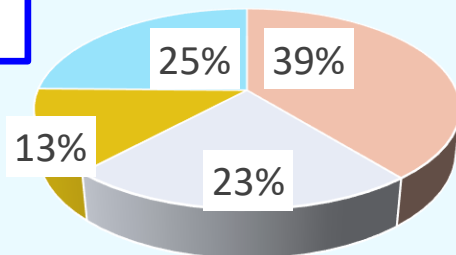
- 会議利用①②を合計すると平日は6割以上、土日祝日は3～4割程度
- ホールとの併用は、平日が2～3割程度に対し、土日祝日は5～6割程度

(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

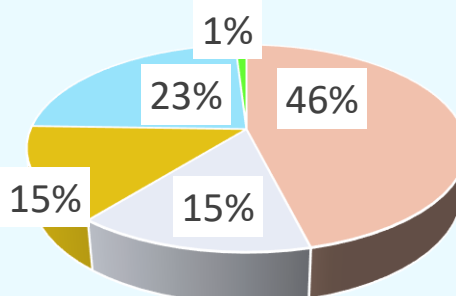
②小規模会議室

第5会議室

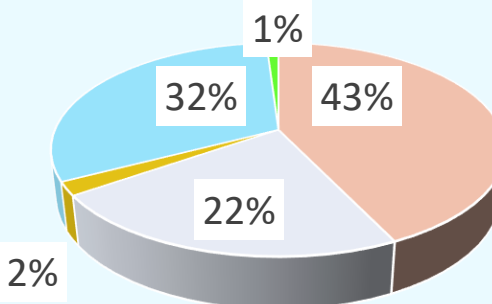
(R7)
平日



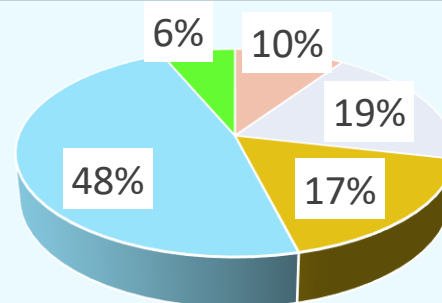
(R6)
平日



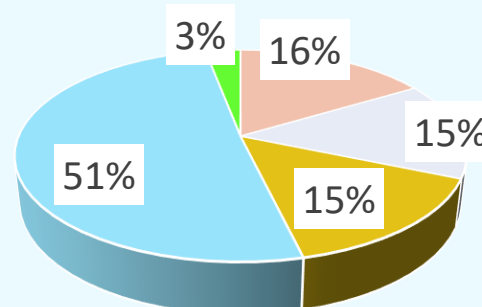
(R5)
平日



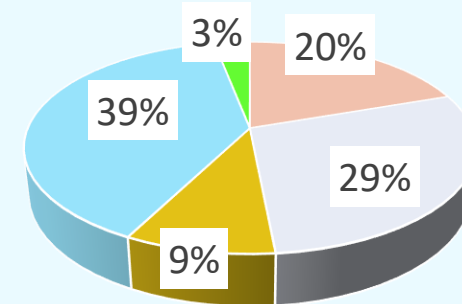
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 会議利用 ①②を合計すると平日は6割程度、土日祝日は3～5割程度
- ホールとの併用は、平日が2～4割程度に対し、土日祝日は4～5割程度
- 第1会議室・第3会議室に比べ文化活動等の割合が若干多いが、第5会議室は大会議室と同じ3階に位置しており、大会議室の控室として利用される場面が多いことが影響していると見込まれる

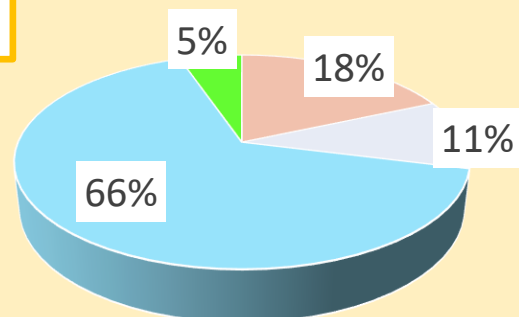
(4) 会議室等の利用実績 (利用目的分類)

③特殊な設えの諸室

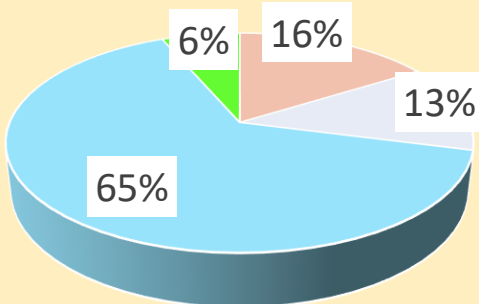


第4 会議室

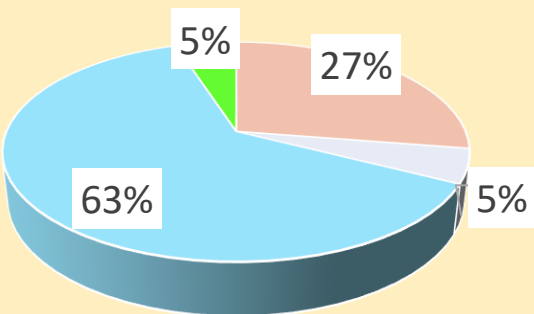
(R7)
平日



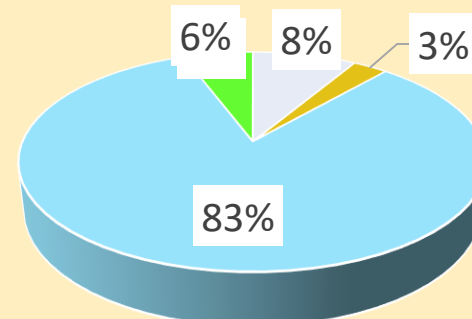
(R6)
平日



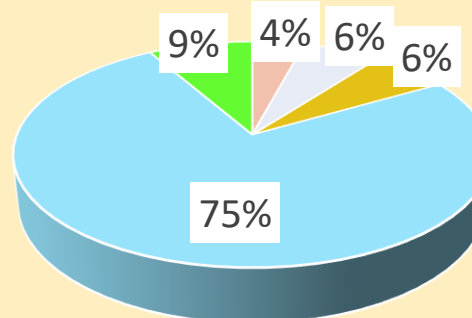
(R5)
平日



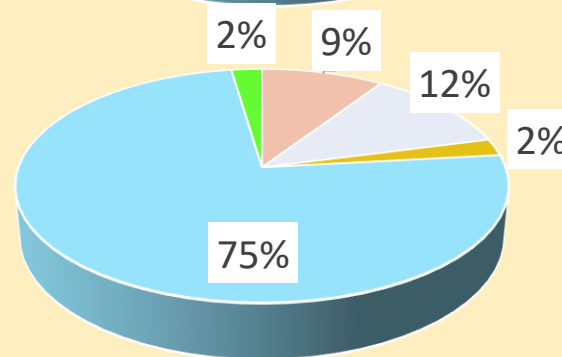
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 割合として最も多いのは **ホールとの併用** で、平日の 6 割以上、土日祝日の 7 割以上を占める
- **会議利用 ①②** を合計すると 3 割未満

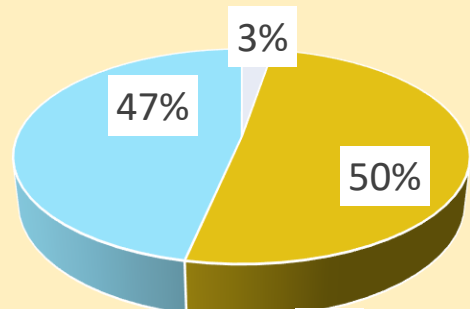
(4) 会議室等の利用実績 (利用目的分類)

③特殊な設えの諸室

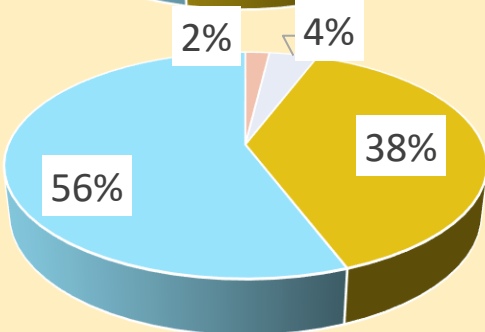


リハーサル室

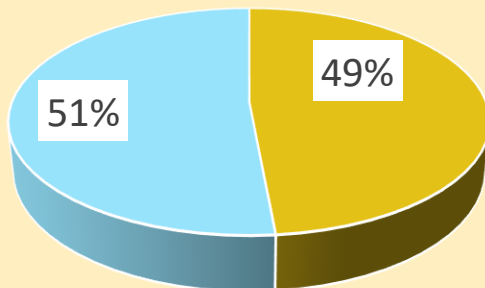
(R7)
平日



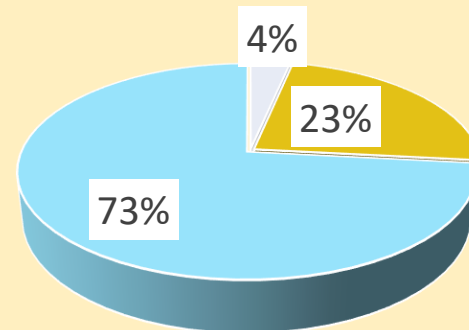
(R6)
平日



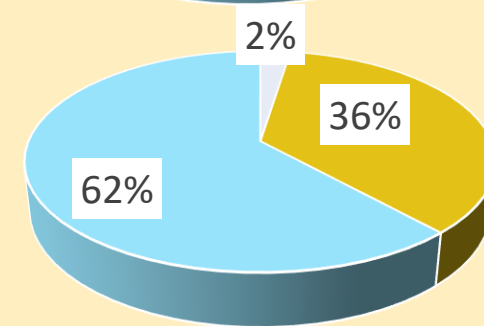
(R5)
平日



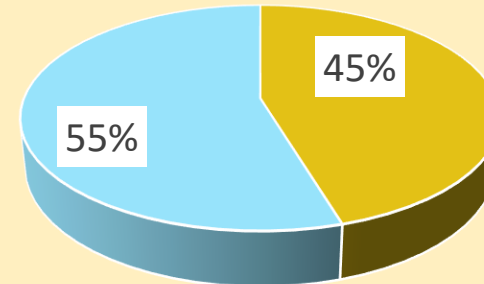
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・
説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 割合として最も多いのは**ホールとの併用**であり、平日の約半分、土日祝日の6～7割を占める
- 残る利用の大半が**文化活動等**（練習等）での利用

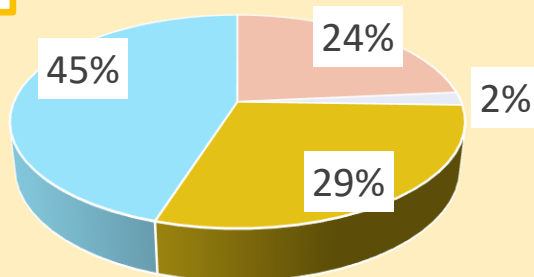
(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類）

③特殊な設えの諸室

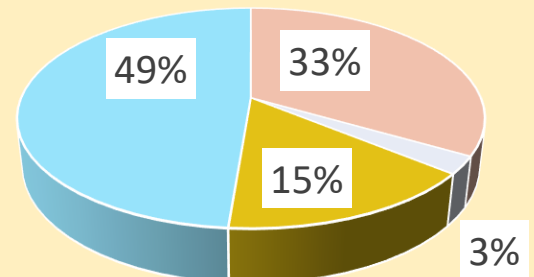


和室

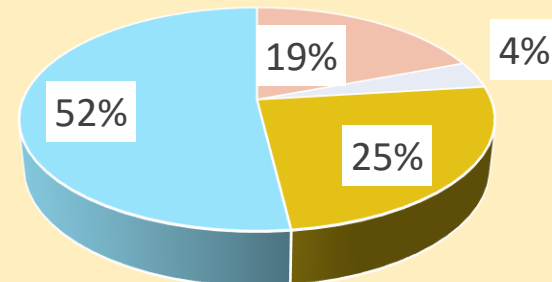
(R7)
平日



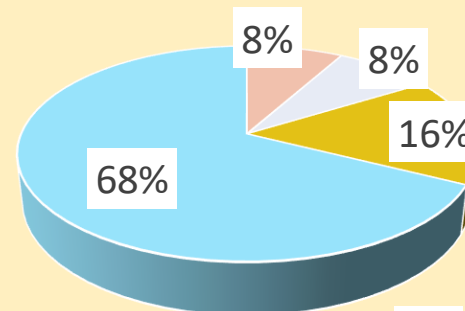
(R6)
平日



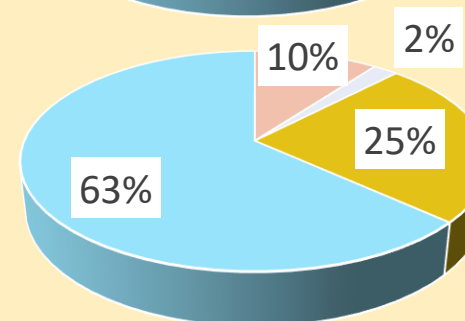
(R5)
平日



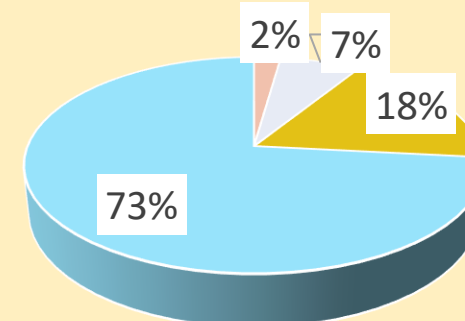
(R7)
土日祝日



(R6)
土日祝日



(R5)
土日祝日



< 凡例 >

会議利用①

(打合せ・相談会等)

会議利用②

(試験・研修・講演・説明会等)

文化活動等

ホールとの併用

(控室・別会場等)

商業活動等

- 割合として最も多いのは**ホールとの併用**であり、平日の約半分、土日祝日の6～7割を占める
- 曜日を問わず**文化活動等**での利用が2割前後と、現施設の諸室の中では若干高い
→ 3階に位置するため、第5会議室と同様に、大会議室の控室としても利用されている

(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類のまとめ）

① 中～大規模会議室

- ・ 平日は**会議利用**が全体の半分以上を、土日祝日は**ホールとの併用**が約半分を占める
- ・ 大会議室のみ防音の会議室であり、平日・土日祝日とも**文化活動等**での利用が若干見られる

② 小規模会議室

- ・ ①と同様、平日は**会議利用**が、土日祝日は**ホールとの併用**の割合が多い
- ・ 第5会議室のみ大会議室と同じ3階に位置するため、大会議室の催しの控室としても利用され、**文化活動等**での利用割合がやや多い

③ 特殊な設えの諸室

- ・ 各室とも**ホールとの併用**での利用が最も多く、全体の半分以上を占める
- ・ 第4会議室は**ホールとの併用**以外での利用が非常に少ない一方、リハーサル室や和室では**文化活動等**での利用が一定程度見られ、小規模な文化活動等に関する需要も見込まれる

全体を通して

- ・ ①・②とも平日は**会議利用**の割合が多く、土日祝日は**ホールとの併用**が多い
- ・ ③は①・②に比べて平日／土日祝日の差が少なく、**ホールとの併用**が最も多く、次いで**文化活動等**での利用が多い

(4) 会議室等の利用実績（利用目的分類のまとめ）



- 各室とも、**ホールとの併用**が一定の割合を占める
（特に③特殊な設えの諸室に関しては、平日／土日祝日を問わず半分以上を占める）
 - ➔ **楽屋の利用状況についても分析する必要がある**
 - ➔ 一方で、これまでの議論にもあったとおり、空間を有効に活用するためには、
楽屋機能との兼ね合いを想定しながら、諸室の規模感・室数等を設定することが望ましい
 - リハーサル室・和室は、小規模の文化活動等での利用が想定される諸室だが、**文化活動等**での利用割合は、平日よりも市民が利用しやすいはずの土日祝日が低い
 - ➔ 防音性能の不足等の使いにくさから、活動での利用が伸び悩んでいると見込まれる
 - ➔ 練習・本番など、**文化交流活動での利用に適した形で整備し、稼働率の上昇を目指す**
（先行事例からも、活動で利用可能な諸室は、会議等での利用も可能と想定）
- 
 - ・ 文化交流活動での利用に適した形で整備することで、会議でも活動でも利用可能な室とし、稼働率の向上を図る
 - ・ 楽屋の利用状況分析も踏まえ、控室等としての利用も想定しながら、規模感・室数等について検討する必要がある

(5) 市民からの意見（諸室に関する意見：第8回検討会 資料3より抜粋）



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">10名程度で出店する、イラストやハンドメイド作品等の小規模の即売会20～40人で音楽の練習10人くらいで勉強会20人くらいでクイズサークルの例会自主映画を上映できる施設がほしい現施設の和室は、使いづらいから使われていない。和室が一つ二つただあるだけでは意味がなく、使う側の意見を取り入れてほしいリハーサル室や多目的室には防音・音響設備を整えることで、安心して利用できる演劇部や、自分の所属する小さい劇団(団員20人程度)で公演をしたい。また、公演に向け練習をしたい本番を行う大ホールと同じ大きさの場所で稽古できると本番直前はありがたい。小さい団体の活動する時は細かい部屋の方が借りやすい。細かい部屋を組みあわせてステージの大きさを柔軟に再現できる施設だと、様々な団体やイベントに使いやすくなるので、理想。 | <ul style="list-style-type: none">学生の活動（部活だけでなく、学校祭なども）の練習ができれば、活気が出るし宣伝効果もあると思う20人位までのアンサンブルコーラスなどの練習朝ヨガ等フリーマーケット20人くらいでリハーサルや、合唱の練習会場として使える場所がほしい個人で楽器の練習ができる、小さな防音室があれば利用していきたい中心部に子どもと一緒に遊べる場所があると良い。駐車場代がかかっても良い。ダンスの練習ができるスタジオ（鏡張りでスピーカーのある防音室）がほしい少人数でも気軽に利用できるような、練習室などあれば利用したい茶道も色々な流派があるので、公共施設でできると利用人数も増える |
|---|---|

• 様々な小規模活動での利用についての希望が挙げられている



- 1 現・市民文化会館の会議室等
- 2 現・市民文化会館／公会堂の楽屋**
- 3 コンベンションでの利用
- 4 中心市街地における公共施設
- 5 まとめ

(1) 現・市民文化会館の楽屋：①大ホール楽屋



■大ホール専用楽屋 見取図



第1楽屋

65.37㎡ 定員20名

大ホール専用楽屋(有料)



第2楽屋

30.97㎡ 定員4名

大ホール専用楽屋(有料)



第3楽屋

30.23㎡ 定員10名

大ホール専用楽屋(有料)



第4楽屋

44.72㎡ 定員10名

大ホール専用楽屋(有料)

(1) 現・市民文化会館の楽屋：①大ホール楽屋



第1楽屋 (定員20人／65.37m²)



第2楽屋 (定員4人／30.97m²)



(1) 現・市民文化会館の楽屋：①大ホール楽屋



第3楽屋 (定員10人／30.23m²)



第4楽屋 (定員10人／44.72m²)



(1) 現・市民文化会館の楽屋：②小ホール楽屋



■小ホール専用楽屋 見取図



第5楽屋

35.61㎡ 定員10名

小ホール専用楽屋(有料)



第6楽屋

15.69㎡ 定員5名

小ホール専用楽屋(有料)



第7楽屋

63.91㎡ 定員20名

小ホール専用楽屋(有料)

(1) 現・市民文化会館の楽屋：②小ホール楽屋



第5楽屋 (定員10人／35.61m²)



第6楽屋 (定員5人／15.69m²)



(1) 現・市民文化会館の楽屋：②小ホール楽屋



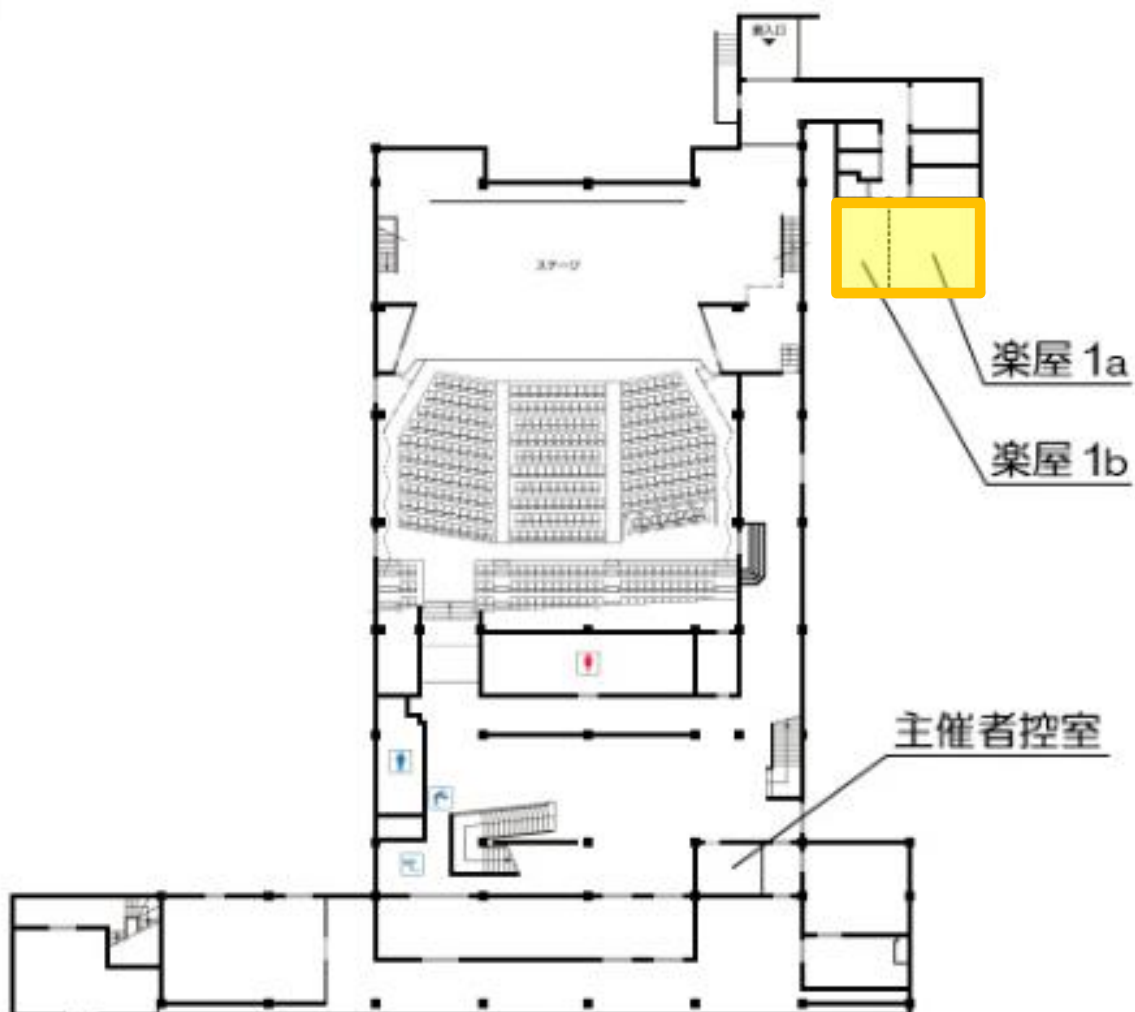
第7楽屋 (定員20人／63.91m²)



(2) 現・公会堂の楽屋



■ 1階見取図



ホール

一般観客席: 717名

演劇・音楽・舞踊・講習会



楽屋1

27㎡ + 15㎡ 定員14名

ご利用は有料となります



主催者控室

10㎡ 定員6名

無料でご利用できます

(2) 現・公会堂の楽屋・諸室



■2階見取図



楽屋2

42㎡+12㎡ 定員24名

ご利用は有料となります



多目的室1

72㎡+30㎡ 定員60名

ご利用は有料となります



多目的室2

30㎡ 定員12名

ご利用は有料となります

(2) 現・公会堂の楽屋



楽屋 1

(1階／定員14人／ $27\text{m}^2 + 12\text{m}^2$)



楽屋 2

(2階／定員24人／ $42\text{m}^2 + 12\text{m}^2$)



(2) 現・公会堂の諸室 (※楽屋と同様、単独での貸出は不可)



多目的室 1

(2階／定員60人／72m² + 30m²)



多目的室 2

(2階／定員12人／30m²)



(3) 楽屋の利用実績 (区分単位の稼働率)



楽屋名		定員	面積	R7稼働率				R6稼働率				R5稼働率			
				午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日
大ホール	第1楽屋	20人	65.37m ²	91.5%	89.9%	64.2%	82.2%	89.0%	87.2%	62.0%	79.4%	88.4%	91.4%	68.5%	89.5%
	第2楽屋	4人	30.97m ²	86.0%	83.8%	56.2%	75.6%	82.5%	80.4%	52.1%	71.8%	82.0%	82.2%	56.5%	79.0%
	第3楽屋	10人	30.23m ²	81.7%	81.0%	51.9%	71.9%	81.8%	78.8%	50.3%	70.4%	80.2%	80.5%	54.8%	77.5%
	第4楽屋	10人	44.72m ²	81.1%	78.8%	50.6%	70.5%	81.2%	78.2%	51.5%	70.4%	83.1%	83.2%	58.3%	80.5%
小ホール	第5楽屋	10人	35.61m ²	56.9%	58.2%	37.6%	51.7%	58.2%	57.3%	29.8%	49.4%	56.1%	57.0%	34.5%	51.9%
	第6楽屋	5人	15.69m ²	55.6%	56.5%	34.8%	49.8%	52.1%	50.6%	23.7%	43.1%	54.0%	55.7%	29.4%	49.7%
	第7楽屋	20人	63.91m ²	73.1%	72.9%	53.9%	67.4%	73.3%	73.8%	49.6%	66.4%	81.3%	79.1%	50.4%	77.0%
公会堂	楽屋1	14人	42m ²	69.6%	67.9%	46.0%	61.5%	61.5%	67.3%	49.2%	59.9%	70.7%	75.0%	50.0%	72.5%
	楽屋2	24人	54m ²	51.4%	53.1%	37.4%	47.6%	53.8%	53.7%	38.5%	49.1%	51.7%	56.1%	40.5%	54.2%
	多目的室1	60人	102m ²	44.2%	41.4%	25.9%	37.4%	42.3%	41.5%	25.4%	36.8%	42.2%	43.2%	25.9%	41.2%
	多目的室2	12人	30m ²	29.7%	31.5%	21.6%	27.8%	31.5%	33.3%	25.4%	30.3%	27.6%	29.5%	23.3%	29.4%

- 大ホール：全室が7割以上
- 小ホール：第7楽屋のみ7割前後、他2室は5割前後
- 公会堂：楽屋1は6～7割、楽屋2は5割前後。多目的室1・2は3割前後

(3) 楽屋の利用実績（利用室数）



- 全ての楽屋を利用している割合

	R7年度	R6年度	R5年度
大ホール	76.8%	72.3%	75.5%
小ホール	42.2%	40.0%	37.7%
公会堂（楽屋1・2のみ）	51.2%	51.9%	54.2%
公会堂（多目的室を含む）	24.1%	30.0%	23.5%

- **大ホール**：7割以上の場合において全室利用
- **小ホール**：全室利用は概ね4割前後・・・大楽屋の利用が多い一方、小楽屋の利用が少ない
- **公会堂**：楽屋1・2に限ると、5割以上の場合において全室利用
2階の多目的室も含めると、全室利用は2～3割程度



- ・メインホール楽屋は、少なくとも現状の規模感・室数は必要か
- ・サブホール楽屋は、ホールを集約していくことや利用状況等も踏まえ、最低限必要な室数を確保しつつ、諸室を楽屋としても利用可能にすることで、様々な催事に対応できるよう、拡張性を持つことが望ましい



- 1 現・市民文化会館の会議室等
- 2 現・市民文化会館／公会堂の楽屋
- 3 コンベンションでの利用**
- 4 中心市街地における公共施設
- 5 まとめ

※ 旭川市民文化会館で催事の開催実績がある複数の事業者を対象に聞き取り
+ 関係事業者・団体から受理した要望

(1) コンベンション関係者の意向

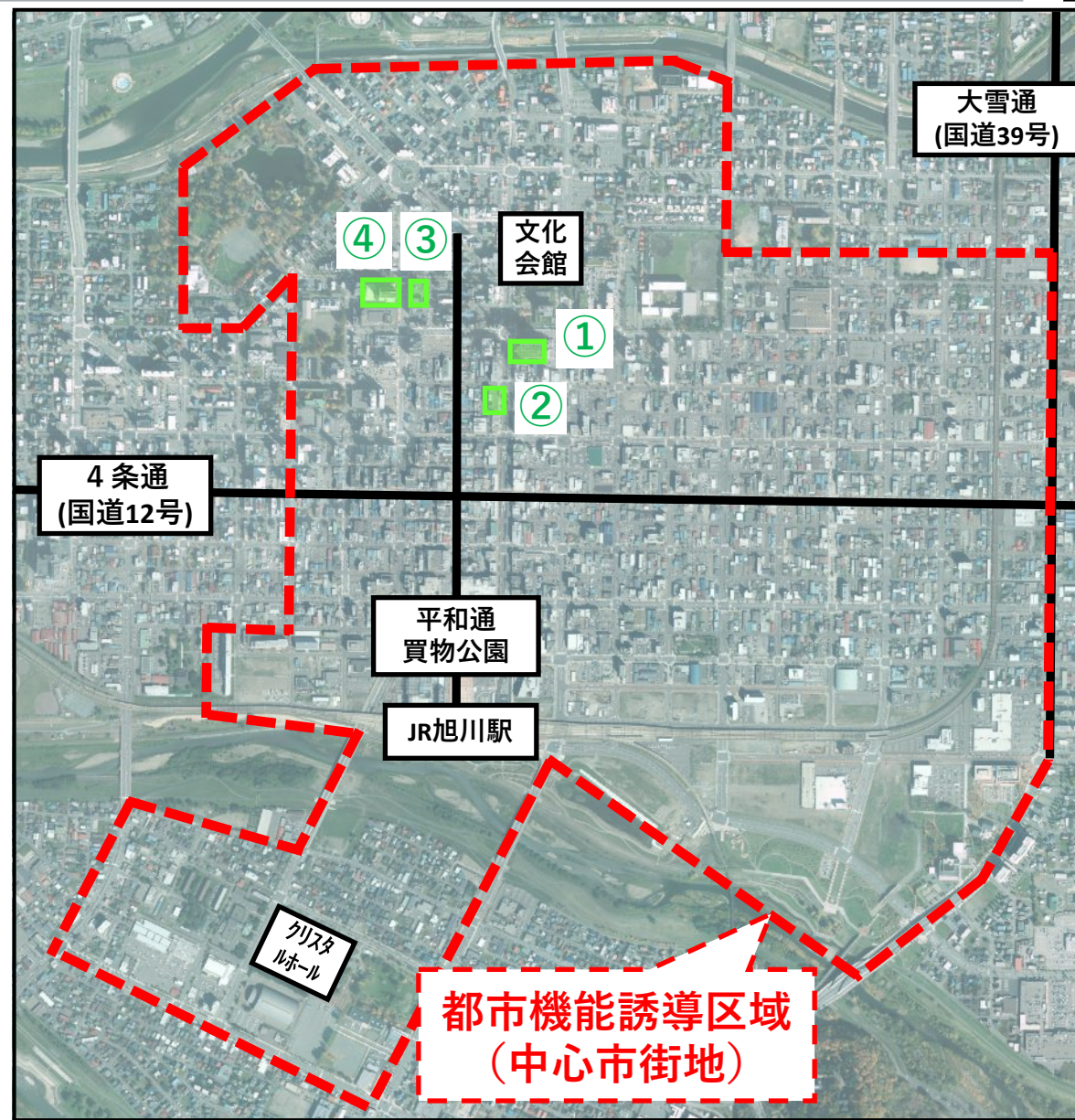
- ・ 楽屋：事務局と、講師の分とが1室ずつあれば良い。
- ・ 会議室：ホテル等と合わせて、トータル10室程度は必要。また、防音性が確保できることが重要。
- ・ リハーサル室：ホール的に使える仕様でも、椅子の出し入れを自分達でしなければいけない場合、使用しないと思う。
- ・ その他：和室や託児できる部屋が必要。
- ・ 展示室が会議室と繋げて使えると良い（会議室も企業展示の会場として使えるように）
- ・ 企業展示で収益性を上げているので、展示室は必須。（ホワイエ・廊下などの共用スペース）
- ・ ホールから一斉に出てくる多数の人流をさばけること、会議後に出てきた人たちが滞留しても妨げとならないように、共用空間は広く取ってほしい。
- ・ 国内会議：1,000～1,500名参加の学会の場合 → 6会場程度、2,000名～参加の学会等の場合 → 10会場程度
- ・ 国際会議：4～5会場で1週間程度 又は 40名×10会場程度
⇒ ホテルなど周辺施設と連携して、8会場は必要（大ホール×1、3～400席×2～3、150～200席×4～5）
- ・ 大人数がスクリーンを見るため、高い位置へ映写できるよう、天井高が必要

- ・ 全ての小規模室を新文化ホールで賄うのではなく、周辺ホテル等と連携して必要数を確保することが現実的
- ・ 動線や託児機能など、活動のしやすさを考える上での工夫は、コンベンションにおいても有用

(2) コンベンションに対応可能な市内ホテル (位置図)

コンベンションに対応可能な市内ホテル

- ① OMO7旭川
- ② ホテルクレセント旭川
- ③ 旭川トーヨーホテル
- ④ アートホテル旭川





(3) コンベンションに対応可能な市内ホテル（諸室状況）

施設名	部屋名	面積	収容人数	施設名	部屋名	面積	収容人数
①OMO7 旭川	グランドホール	1,072㎡	500人	④ アートホテル旭川	ザ・ウエストルーム	540㎡	275人
	白鳥	216㎡	70人		ザ・イーストルーム	417㎡	220人
	北辰	124㎡	40人		アザレア	78㎡	20人
	北斗	128㎡	40人		ローアン	117㎡	50人
	錦糸	100㎡	30人		パンジー	104㎡	50人
②ホテル クレッセ ント旭川	コスモス	109㎡	60人		ライラック	156㎡	56人
	カトレア	127㎡	60人		コスモス	72㎡	15人
	いちい（和室）	21㎡	10人		ボールルーム	960㎡	600人
③旭川 トーヨー ホテル	丹頂の間	540㎡	210人		ハマナス	122㎡	50人
	翡翠の間	265㎡	112人		BIZルームⅠ	132㎡	63人
	水晶の間	175㎡	64人		BIZルームⅡ	130㎡	63人
	琥珀の間	166㎡	48人		ボードルームⅠ	43㎡	18人
	エメラルド	79㎡	24人		ボードルームⅡ	37㎡	18人
	サファイア	49㎡	12人		大和・弥生（和室）	32畳 +29.5畳	40人
	万葉の間	30畳+32畳	50人		平安・桃山（和室）	28畳 +28畳	36人
	（和室）	+33畳					

※収容人数は基本的にコタール形式の場合について記載

※ 収容人数は基本的にスクール形式の場合について記載



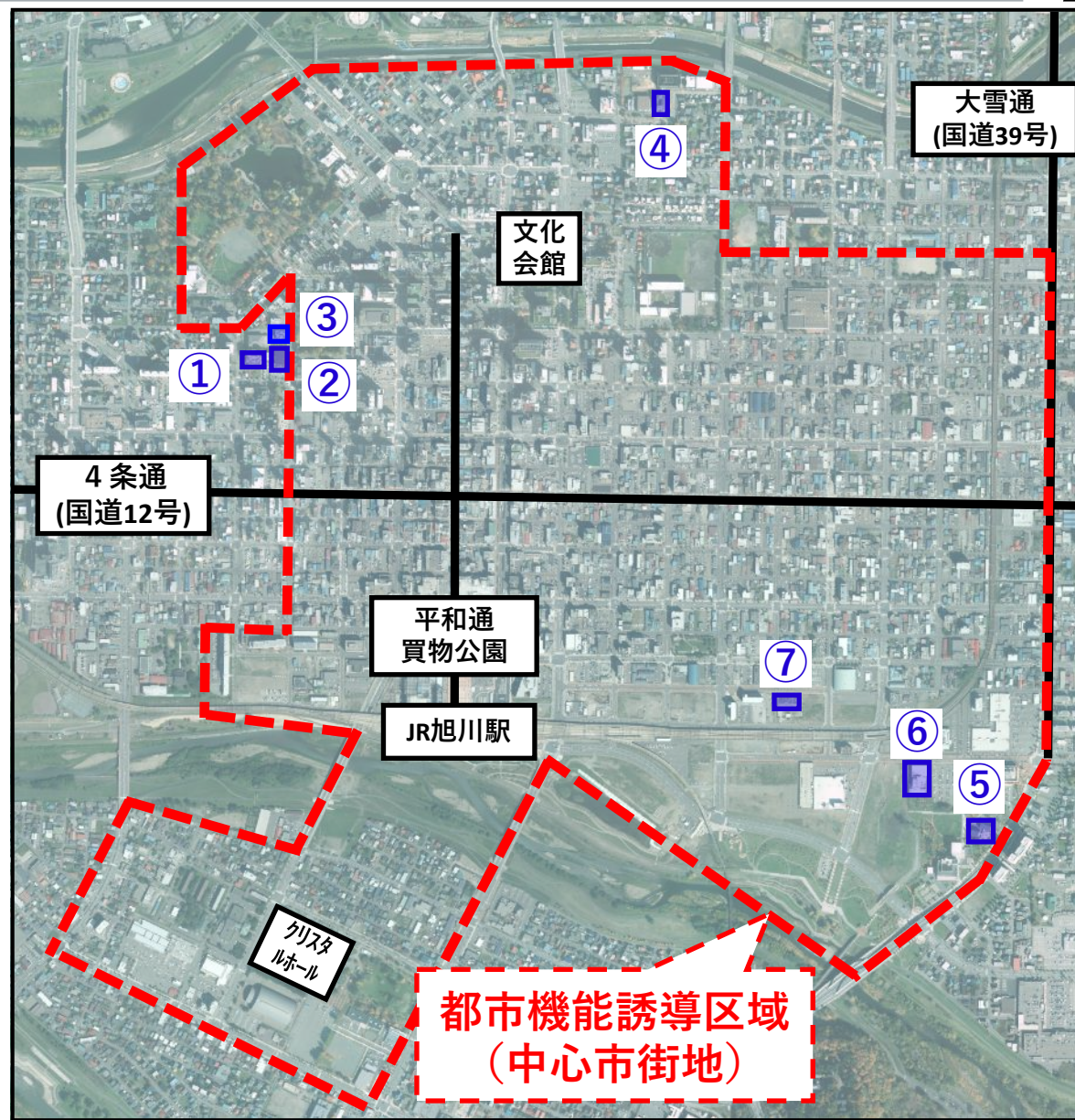
- 1 現・市民文化会館の会議室等
- 2 現・市民文化会館／公会堂の楽屋
- 3 コンベンションでの利用
- 4 中心市街地における公共施設**
- 5 まとめ

(1) 中心市街地における公共施設 (位置図)

中心市街地において
貸室機能を有する公共施設

- ① ときわ市民ホール
- ② 旭川勤労者福祉会館
- ③ 旭川建設労働者福祉センター
サン・アザレア
- ④ 旭川市こども家庭センター
(子ども総合相談センター)
- ⑤ 旭川市民活動交流センター CoCoDe
- ⑥ 旭川市障害者福祉センターおびった
- ⑦ 北彩都子ども活動センター
ASOBI～BA (あそび～ば)

国土地理院撮影の空中写真 (2014年撮影) を加工して掲載



(2) 中心市街地における公共施設（外観）



①ときわ市民ホール



② 勤労者福祉会館



③旭川建設労働者福祉センター
サン・アザレア



(2) 中心市街地における公共施設（外観）



④旭川市こども家庭センター
(子ども総合相談センター)



⑤旭川市民活動
交流センター
CoCoDe



⑥旭川市障害者福祉センター おびった



⑦北彩都子ども活動センター
ASOBI～BA (あそび～ば)



(3) 中心市街地における公共施設（諸室状況）



施設名	部屋名	面積	人数	R3	R4	R5	R6	部屋名	面積	人数	R3	R4	R5	R6
①ときわ市民ホール	展示コーナー			0%	5%	14%	22%	研修室101		54人	40%	50%	47%	46%
	趣味の部屋 1		24人	15%	15%	8%	12%	研修室201		24人	25%	32%	32%	32%
	趣味の部屋 2		24人	19%	29%	31%	32%	研修室202		30人	27%	32%	31%	29%
	軽運動室		30人	44%	69%	68%	71%	研修室301		30人	48%	61%	60%	58%
	サークル室		50人	21%	34%	44%	48%	研修室302		30人	51%	62%	62%	60%
	会議室		16人	22%	27%	32%	31%	研修室303		36人	44%	56%	60%	45%
	会議室 2		54人	35%	38%	33%	29%	研修室304		27人	38%	36%	53%	21%
	調理実習室		40人	14%	16%	14%	12%	研修室305		36人	37%	32%	31%	16%
	多目的ホール 1		36人	37%	52%	55%	53%	研修室306		30人	38%	48%	28%	46%
	多目的ホール 2		60人	36%	50%	52%	52%	研修室401		24人	29%	36%	34%	30%
	和室 1	24畳		27%	34%	38%	38%	研修室402		48人	32%	39%	45%	44%
	和室 2	36畳		35%	46%	47%	51%							
	和室 3	24畳		25%	31%	33%	26%							
(1988年築)														
(耐震性有)														

(3) 中心市街地における公共施設（諸室状況）

部屋名	部屋名	面積	人数	R3	R4	R5	R6
②旭川勤労者福祉会館 (1981年築) (耐震診断未実施)	大会議室		165人	35%	50%	48%	41%
	中会議室		135人	28%	38%	32%	28%
	小会議室A		28人	33%	40%	43%	38%
	小会議室B		44人	24%	32%	35%	37%
	小会議室C		44人	21%	25%	37%	29%
	研修室		40人	25%	35%	35%	32%
	図書研修室		32人	28%	38%	37%	34%
	音楽室		40人	14%	38%	47%	57%
	プレイ室						
	和室A	35畳		16%	24%	29%	32%
	和室B	35畳		29%	40%	43%	43%
	和室D	36畳		20%	19%	14%	12%
	和室C	36畳		20%	30%	34%	29%

(3) 中心市街地における公共施設（諸室状況）



施設名	部屋名	面積	人数	R3	R4	R5	R6
③旭川建設労働者福祉センター サン・アザレア (1978年築) (要・耐震改修)	サークル室		12人	13%	22%	25%	16%
	研修室		30人	7%	17%	12%	9%
	和室研修室	40畳		8%	8%	10%	7%
	ホール		156人	7%	7%	12%	10%
④旭川市こども家庭センター (子ども総合相談センター) (1989年築) (耐震性有)	研修・会議室 1		54人	31%	30%	23%	12%
	研修・会議室 2		81人	25%	27%	23%	18%
	研修・会議室 3		32人	22%	24%	17%	16%
⑤旭川市民活動交流センター CoCoDe (2009年改修) (耐震性有)	会議・研修室 1	38.4m ²		32%	42%	40%	46%
	会議・研修室 2	46.8m ²		28%	44%	41%	44%
	作業・打合せ室	16.8m ²		29%	41%	41%	41%
	事務作業室	15.1m ²		23%	35%	41%	43%
	ホール	235.4m ²	180人	24%	43%	48%	51%

※面積・収容人数は各施設HPから、利用率は令和7年度版旭川市公共施設カルテから引用

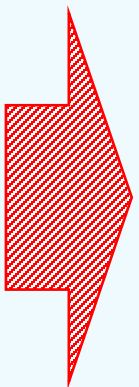
(3) 中心市街地における公共施設（諸室状況）

施設名	部屋名	面積	人数	R3	R4	R5	R6
⑥旭川市障害者福祉センター おびった (2001年築) (耐震性有)	会議室 1	191㎡	117人	51%	52%	63%	64%
	会議室 2	27㎡	10人	36%	39%	43%	48%
	会議室 3			51%	50%	51%	48%
	和室研修室	20畳		21%	23%	24%	23%
	陶芸室			0%	0%	0%	0%
	調理室		12人	9%	6%	10%	27%
	映像スタジオ			26%	31%	35%	41%
	音響スタジオ			1%	1%	1%	0%
⑦北彩都子ども活動センター ASOBI～BA（あそび～ば） (2015年築) (耐震性有)	和室 A	20畳		※ 旭川市公共施設カルテにおいて 「利用者数」として集計・記載 されており、利用率の記載なし			
	和室 B	20畳					
	音楽室	16㎡					

(4) 周辺施設状況を踏まえた（仮称）新文化ホール諸室の考え方



- 本資料に記載した公共施設については、旭川市公共施設等総合管理計画の第1期アクションプログラム・施設再編計画において、他施設への集約化、又は継続して使用していくことが想定されており、新文化ホールとして、ただちに受入れが必要と言える状況にはない。
- 一方で、公会堂の例に見られるとおり、仮にこれらの施設を改修するなどして延命化したとしても、永続的に当該施設を稼働し続けられるわけではない。
- ただし、現状においても、現・市民会館や近隣公共施設の諸室は、利用率に余白があることに加え、将来的には、人口減に伴う一定の利用減も想定される。



- 新文化ホールにおける諸室の規模感・室数について、現在の市民文化会館から大幅に増加することは、妥当とは言い難い。
- これまで検討会でも意見のあった「可動壁による規模の可変性」等の「様々な規模感に柔軟に対応できる仕組み」については、将来的な状況の変化への対応を考慮する上でも、有用と考えられる。

(5) 検討会での議論

- コンベンションは平日の開催が多く、市民利用の隙間を埋める活動の一つであると認識している。
- コンベンションの誘致を考えると、会議室機能にも着目したい。誘致において対抗となる施設は、その多くが1,000人程度が収容できる会場1つと、100人規模の会議室を10室程度備えていることが多い。旭川では、現・文化会館と周辺のホテル等が連携する形で対応しているが、室数だけでなく、使用人数に応じて規模が可変式であったり、防音に優れているなど、機能的に優れた室になると、市民の文化活動での使用においても、コンベンションでの使用においても使いやすく、利用促進につながるものとする。
- コンベンションに関しては、もう少し会議室が必要になると思われる。昨今は可動間仕切りの性能が上がっているが、別の会議や活動で使用する際には、三分割して真ん中を空けるなどといった運用上の工夫も必要になるものと思う。
- 現状の施設には和室もあるが、こうした利用が特定団体に偏りがちな諸室については、より柔軟に利用できるよう、工夫している事例が多い。
- 旭川近郊には、茶道・華道など日本の伝統文化を嗜まれている方々が多い。例えば、茶道には様々な流派・形式があるため、一つの部屋だと使いづらくなる懸念がある。
- 平日に市民が気軽に利用できる場所として、複数の流派に対応でき、伝統的な作法を担保できる空間になると、音楽や演劇といった活動以外の文化にも裾野を広げる一助になるのではないかと考える。
- 現在の市民文化会館の楽屋は非常に狭いため、新施設では現代的なバックヤード機能を備える必要があるだろう。アーティスト・主催者側についても、リピーターとして確保することは大切であると思う。



- 1 現・市民文化会館の会議室等
- 2 現・市民文化会館／公会堂の楽屋
- 3 コンベンションでの利用
- 4 中心市街地における公共施設
- 5 まとめ**

(仮称) 新文化ホールの諸室機能・規模についての考え方



① 機能：様々な活動ニーズへの対応

- ・ 現・市民文化会館の諸室機能は、防音機能の不足や規模の可変性など、対応できていないニーズがある
- ➡ 単なる会議室として整備するのではなく、現代的な文化ホールの諸室として、新たな文化交流活動ニーズに対応

② 規模：現施設及び周辺施設の稼働率を踏まえた規模感・室数

- ・ 現・市民文化会館の諸室も、中心市街地の公共施設の諸室も、現状において利用が溢れるような状況にはなく、一定の余裕がある
 - ・ 今後の財政状況や人口動向を考慮して、施設規模の適正化を図る必要がある
 - ➡ 規模感・室数の大幅な増加は妥当ではない
 - ➡ 様々な状況に対して柔軟に対応可能な機能性（可動壁による規模の可変性など）を備えておくことは、将来的な状況の変化を想定した場合にも、有用と見込まれる
- 
 - ・ 現・市民文化会館の規模をベースに、新たな文化交流活動等のニーズや将来の状況にも柔軟に対応可能な機能を備えるよう整備することが望ましい

【参考URL】



P.3～4・P.18～19 現・市民文化会館の会議室等／楽屋

- ・旭川市民文化会館ホームページ：施設紹介
(<https://www1.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/siminbunka/index.htm#>)

P.33 コンベンションに対応可能な市内ホテル（諸室状況）

- ・OMO7旭川 by 星野リゾート：会議・セミナー
(<https://banquet.omo-hotels.com/asahikawa/meeting/>)
- ・ホテルクレセント旭川：MULTIPURPOSE
(<https://www.hotel-cr.com/multipurpose/>)
- ・旭川トーヨーホテル：Banquet/ご宴会・ご法要・各種会議、会場のご紹介
(<https://www.toyo-hotel.net/hall>)
- ・アートホテル旭川：ご宴会・会議
(<https://www.art-asahikawa.com/banquetroom/>)



【参考URL】

P.38～42 中心市街地における公共施設（諸室状況）

- ・旭川ときわ市民ホール 施設案内

（<https://www.asahikawa-dpc.co.jp/7Tokiwa/tokiwaindex.html>）

※ ときわ市民ホール、旭川勤労者福祉会館、旭川建設労働者福祉センター サン・アザレアについて掲載

- ・旭川市こども家庭センター研修・会議室の御案内

（<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/800/808/813/d069320.html>）

- ・旭川市民活動交流センターCoCoDe：ダウンロード一覧

（<https://cocode.jp/download/>）

- ・令和7年度版旭川市公共施設カルテ

（<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/767/siyuuti2/d082570.html>）